平成31年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本校は、産業創造系、機械系、電気系の各系がもつ特徴を生かし、伝統と実績を踏まえたものづくり教育を中心とした工業教育を行う。

校訓として、「誠実・剛毅」「自主・創造」「敬愛・協力」を掲げ、健全な生徒の育成を図る。

本校のミッション（使命）は、「地域社会のリーダーとなり得る人格を兼ね備えた、ものづくりのスペシャリストの育成」である。『「地域の宝」となる！』というスローガン（標語）を掲げ、経済産業省が提唱する『社会人基礎力（前に踏み出す力）（考え抜く力）（チームで働く力）』の育成とともに、優れた工業技術や創造性を有する人材を育成する。

- 1 人権尊重の理念を正しく理解し、豊かな人間性と基本的な生活態度や礼儀、正しい挨拶などの社会性を身に付けた生徒を育成する学校。
- 2 自ら課題を見つけ出し、他の人々と協働してその解決に主体的に取り組むことのできる、創造性豊かな製品開発のスペシャリストを育成する学校。
- 3 地域の「ものづくり教育」の発信源となり、地域に根ざし、保護者や地域の産業界から『地域の宝』と信頼される学校。
- 4 生徒一人ひとりを大切にされた教育を実践し、生徒および保護者から『入学してよかった』『学んでよかった』『卒業してよかった』と言われる学校。

2 中期的目標

1 学習指導の推進（基礎的な学力と技能を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育成し、主体的に学習に取り組む態度を育てる）

(1) 基礎学力の定着を図るため、授業規律を徹底し、「魅力のある授業」・「わかる授業」を全教員で実践する。

・授業理解度を75%以上。また、2021年度までには、授業理解度を80%以上とする。

（授業理解度：H28 [普通科]71.8%・[専門科]68.6%、H29 75.8%・71.4%、H30 78.7%・74.8%）

(2) 生徒の主体的・協同的な学びを推進する。教員の授業力の向上を図ることで生徒の満足度を高める。

・授業アンケート結果による総合（設問1～9）スコアを3.18以上とする。また、2021年度までにはスコアを3.20以上とする。

・授業公開週間を年2回実施するなど、教員の授業見学数を250回以上とする。また、2021年度までには300回以上とする。

（授業アンケートスコア：H28 [7月]3.12・[12月]3.16、H29 3.16・3.21、H30 3.16・3.18）

（授業見学への教員の参加数：H28 210回、H29 264回、H30 268回）

2 生徒一人ひとりを大切にされた教育の推進

(1) 工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、製品開発力や発信力を育成する。

・各種コンテスト、大会において積極的に参加をし、入賞等の成果を上げる。

（コンテスト応募件数：H28 30件、H29 64件、H30 133件）

(2) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。

・応募前職場見学、インターンシップ、企業見学への参加者を累積で450名以上とする。また、2021年度までには500名以上とする。

・就職一次合格度を85%以上とする（H28 87.8%、H29 86.3%、H30 86.7%）

(3) 生徒一人ひとりに寄り添った指導を実践する。いじめを防止し、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。

・入学満足度を70%以上、登校満足度を70%以上、2021年度までには、入学満足度を72%以上、登校満足度を72%以上。

（入学満足度：H28 64.9%、H29 72.0% H30 68.1%）（登校満足度：H28 62.3%、H29 68.1% H29 69.2%）

(4) 支援が必要な生徒については、「個別的教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、個性に応じたきめ細やかな支援を行う。

3 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成

(1) 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の確立と、社会性や規範意識をはぐくむ。また、課題を早期に発見し中途退学を防止する。

・遅刻件数を1000件以下、退学率を2%未満とし、2021年度年度には、遅刻件数を900件以下とする。

（遅刻回数：H28 861件、H29 1073件、H30 1129件）（退学率：H28 3.30%、H29 2.94%、H30 2.4%）

(2) 部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。

・クラブ加入率を40%以上、2021年度年度には、クラブ加入率を45%以上とする。

（クラブ加入率：H28 50.1%、H29 42.0%、H30 39.2%）

4 地域と連携した広報活動の充実と開かれた学校づくり

(1) 学校説明会等広報活動を積極的に行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。

・オープンスクールを年2回開催し、参加者を400名以上とする。また、その他の説明会を年12回以上開催する。

（オープンスクール参加者：H30 451名）（その他説明会開催回数：H30 12回）

(2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに参加し、活動成果を情報発信するとともに、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。

・企業等連携を25社以上、学校PRを8回以上とする。（企業等連携：H30 25社）（学校PR：H30 11回）

(3) 校内のICT化を推進し、効率的、効果的な情報発信をおこなう。また、会議時間の縮減を行い、教員の負担軽減を図る。

・学校Webページの更新を100回以上とし、2021年度には、学校Webページの更新を200回以上とする。

（学校Webページの更新：H28 83回、H29 95回、H30 257回）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学習指導の推進	<p>(1) 基礎学力の定着を図るため、授業規律を徹底し、「魅力のある授業」・「わかる授業」を全教員で実践する。</p> <p>(2) 生徒の主体的・協同的な学びを推進する。教員の授業力の向上を図ることで生徒の満足度を高める。</p>	<p>1) 授業アンケート、外部テストを活用し、各教科、個人の課題を明確にし、改善を行う。</p> <p>・少人数授業を行う。必要に応じて習熟度別授業を実践し、生徒の課題に適切に対応する。(国語、数学、英語の3科目及び家庭)</p> <p>2) 授業見学や研究授業を実施し、好事例の共有を図る。</p> <p>・職員会議、研修等で、授業改善について「目標」「手段」を明確にし、教員で共有する。</p>	<p>1) 授業理解度 75%以上 (H30 [普通科] 78.7% [専門(座学)] 74.8% [実験・実習] 82.6%)</p> <p>2) 授業アンケートスコア 3.18以上 (H30 [7月]3.16・[12月]3.18)</p> <p>・授業公開週間 2回以上実施(H30 2回)</p> <p>・教員授業見学数 250回(H30 268回)</p>	
2 生徒一人ひとりを大切に した教育の推進	<p>(1) 工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、製品開発力や発信力を育成する。</p> <p>(2) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。</p> <p>(3) 生徒一人ひとりに寄り添った指導を実践する。いじめを防止し生徒に安全で安心な教育環境を提供する。</p> <p>(4) 支援が必要な生徒については、「個別的教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、個性に応じたきめ細やかな支援を行う。</p>	<p>1) 創造性豊かな製品開発力を育成するため、ものづくりに関する競技、コンテスト等に積極的に参加出場する。</p> <p>2) 進路指導部と学年団・専門系が連携し、進路講話やインターンシップ、企業見学などを積極的に実施し、進路選択の情報提供を充実させる。</p> <p>3) 「いじめは絶対に許さない」の信念のもと、厳しさの中にも、カウンセリングマインドを持って生徒指導を行う。</p> <p>・生徒指導に関する生徒情報交換会を実施する。</p> <p>4) 支援コーディネータを中心として、教科担当者と担任等が連携し、学習支援や相談機能を充実させ、中途退学者の防止を図る。</p> <p>・教育相談体制を充実させ、生徒の問題の早期発見と解決を図る。</p>	<p>1) コンテスト応募件数 100件以上 (H30 133件)</p> <p>・近畿大会・全国大会入賞 (H30 ロボット相撲全国大会、マイコンカー全国大会)</p> <p>2) 応募前職場見学参加者 90名以上 (H30 85名)</p> <p>・インターンシップ参加者 40名以上 (H30 26名)</p> <p>・企業見学 350名以上 (H30 348名)</p> <p>・就職一次合格率 85%以上 (H30 86.7%)</p> <p>3) 生徒入学満足度 70%以上 (H30 68.1%)</p> <p>・生徒登校満足度 70%以上 (H30 69.2%)</p> <p>・生徒いじめ満足度 80%以上 (H30 80.4%)</p> <p>・生徒指導納得度 65%以上 (H30 60.7%)</p> <p>4) 支援準備委員会 10回以上 (H30 10回)</p> <p>・支援チーム会議 20回以上 (H30 21回)</p> <p>・ケース会議 3回以上 (H30 5回)</p> <p>・生徒相談満足度 60%以上 (H30 59.2%)</p> <p>・退学率 2%未満 (H30 2.4%)</p>	
3 基本的な生活習慣の 醸成	<p>(1) 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の確立と、社会性や規範意識をはぐくむ。また、課題を早期に発見し中途退学を防止する。</p> <p>(2) 部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。</p>	<p>1) 日常的に頭髪、服装等についての指導を行う。また、定期的に全校的な指導を実施し、規範意識の向上を図る。</p> <p>・各学期に懇談週間を設定し、家庭と生徒情報を密に交換し、課題の早期発見に努める。</p> <p>2) 新入生に対して、また、中学生に対してもクラブ体験週間を実施し、入部を促進する。</p>	<p>1) 懲戒指導件数 30件以下 (H30 32件)</p> <p>・遅刻数 1000件以下 (H30 1229件)</p> <p>・保護者入学満足度 95%以上 (H30 94.4%)</p> <p>2) クラブ加入率 40%以上 (H30 39.2%)</p> <p>・生徒行事満足度 75%以上 (H30 74.9%)</p>	
4 地域と連携した広報活動の 充実と開かれた学校づくり	<p>(1) 学校説明会等広報活動を積極的にを行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。</p> <p>(2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに参加し、活動成果を情報発信するとともに、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>(3) 校内の ICT 化を推進し、効率的、効果的な情報発信をおこなう。また、会議時間の縮減を行い、教員の負担軽減を図る。</p>	<p>1) 中学生及びその保護者のニーズに沿った「オープンスクール」を年2回実施する。</p> <p>・会場、方法の異なる説明会を実施する。</p> <p>2) 地域企業、事業所等と連携し、ものづくりにおける技術力の向上を図る。</p> <p>・行政機関や民間団体等と連携し、様々なイベントに参加して、ものづくりへの関心を高め、生徒の発信力を高める。</p> <p>3) 多様な時期、母体より、積極的に学校 Web ページを活用した学校 PR を行う。</p> <p>・校内の ICT 環境を整備し、情報共有の効率化を図ることで、教員の事務負担を軽減する。</p> <p>・会議時間の短縮を図り、教職員の負担を軽減し、働き方改革を行う。</p>	<p>1) オープンスクール参加者 400名 (H30 453名)</p> <p>・その他説明会開催回数 12回以上 (H30 12回)</p> <p>2) 企業等連携 25社以上 (H30 25社)</p> <p>・学校 PR (イベント参加) 8回以上 (H30 11回)</p> <p>3) 学校 Web ページの更新 100回以上 (H30 257回)</p> <p>・職員会議実施時間 1時間以内 80%以上 (H30 94%)</p>	